



かたびらみやま

平成31年2月22日
京都市立鏡山小学校
(TEL581-2183)
(FAX581-2184)

12月実施 学校評価 結果報告

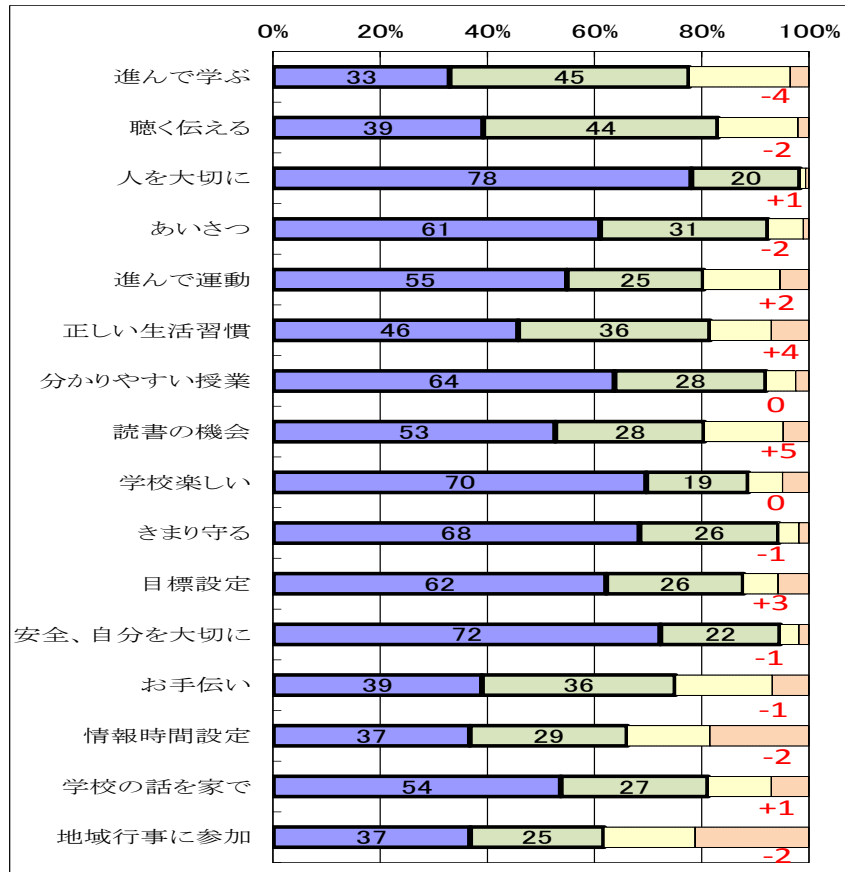
表の見方について

各項目左はし□ …できている（数字は％）

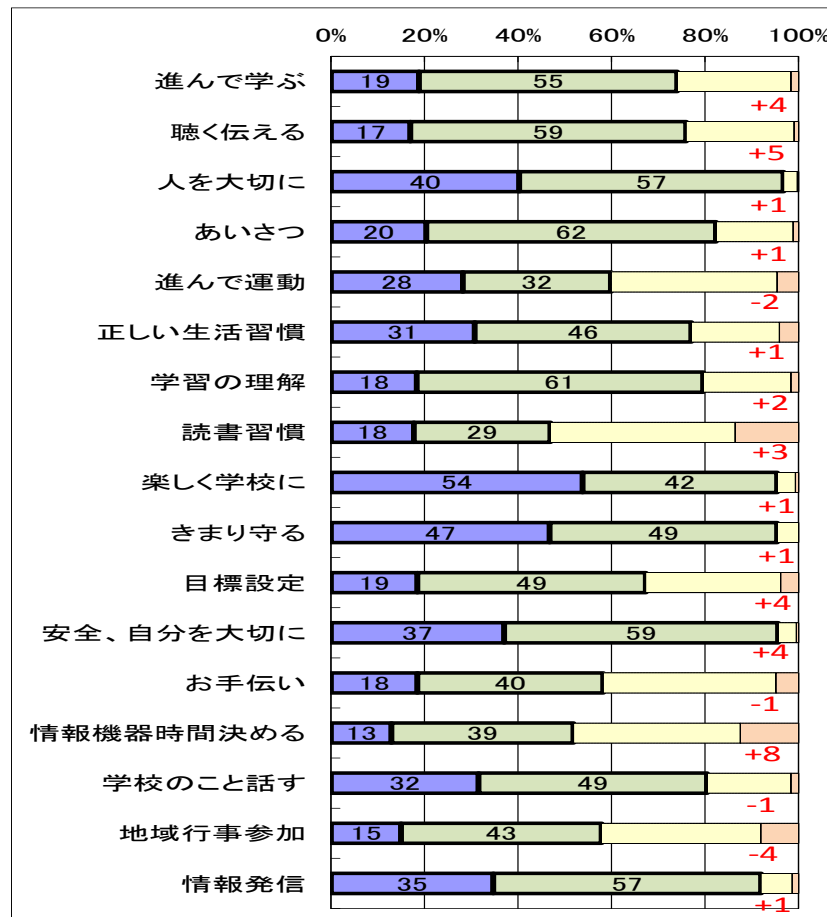
各項目左から2つ目□…だいたいできている（数字は％）

各項目右端数字…7月比（数字は％）

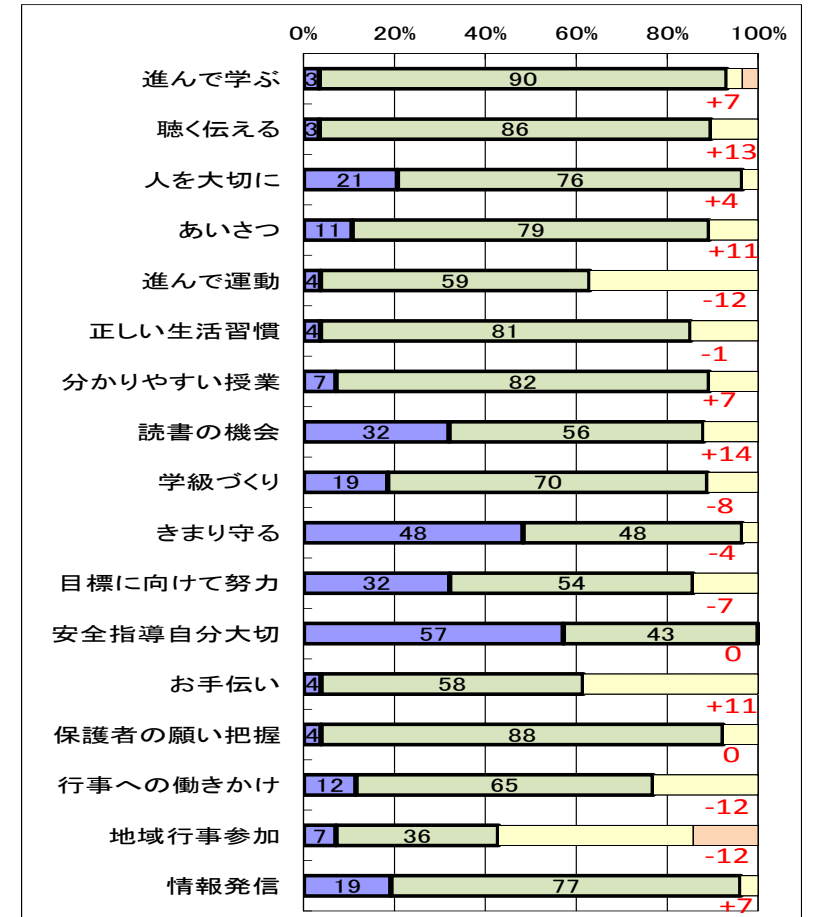
<児童>



<保護者>



<教職員>



アンケート結果より

<全体>

- 「きまりを守る」「自分や人を大切にする」の実現度が高く、規範意識や人権感覚が育っている。
- 「学習の理解」「読書習慣」の実現度が上がってきた。
- ▲ 「情報機器の時間を決める」「お手伝い」「地域行事への参加」の項目の実現度が低い。

<児童>

- 「進んで運動」「正しい生活習慣」「学校の話の家でする」の実現度はどの学年も上がってきている。
- ▲ 「進んで学ぶ」の項目が、どの学年も下がっている。
- 「情報機器の使用・視聴時間の設定」が高学年になるにつれて下がり、7月比も下がっている。

<保護者>

- 「学校からの情報発信」の実現度が高い。
- ▲ 「情報機器の時間を決める」が、7月比で大きく上昇したが、約5割の家庭にとどまっている。
- 「学校のことを話す」「地域行事への参加」のニーズが7月比で高まってきている。

<対策>

- ・「学校が楽しい」の実現度は相変わらず高いが、1割の児童はそうは感じていない。その児童を減らしていくべく学校では担任とのコミュニケーションや仲間づくりを大事にしている。3学期は「集団としての高まり」を目指し、子どもの自治的な活動を増やす中で、全ての子どもたちにとって教室が「居心地の良い場所」となるよう集団を支えていきたい。
- ・「進んで学ぶ」「分かりやすい授業」といった子どもたちの学習意欲は、大人は高まってきていると感じているが、子どもの実感は薄いようである。教師がテンポの良い授業を心がけ、子どもたちが積極的に意見を発表する中で、「学ぶ楽しさ」を味わえる授業づくりに取り組むとともに、学習内容定着・学習意欲向上のための自主学習にも取り組んでいきたい。
- ・「お手伝い」「学校のことを家で話す」「地域行事への参加」といった「人とつながる」ことに対するニーズが高まっている。「情報機器の時間の設定」がまだまだできていない家庭も多いようだが、情報機器は友達や家族・地域とのコミュニケーションの低下にもつながる。人とつながることで生まれる「温もり」を感じられるような取組や時間の設定を、学校・家庭・地域が進めていけたらと思う。

<学校運営協議会の話し合いより>

2月20日に行われた「学校運営協議会」にて、学校評価結果について話し合い、主に「情報機器の使い方」や「人とのつながり」についてご意見をいただきました。今後の取組に生かしていきたいと思ひます。

